

特集 市の財政状況 アゲイン





それではまず
令和4年度
決算状況を
ご覧ください

地方消費税交付金など
44億6,804万円
6.0%

市債
34億5,690万円
4.6%

県支出金
68億8,647万円
9.3%

国庫支出金
159億4,490万円
21.5%

農林水産費など
71億6,771万円
9.9%

教育費
36億7,057万円
5.0%

地域政策費
54億6,364万円
7.5%

経済交流費
55億9,945万円
7.7%

企画財務費
65億48万円
9.0%

建設費
65億1,624万円
9.0%

健康保険費
73億7,189万円
10.2%

公債費
68億6,617万円
9.5%

子ども福祉費
233億3,811万円
32.2%

地方交付税
133億2,335万円
17.9%

市税
177億3,503万円
23.9%

繰入金
49億6,749万円
6.7%

諸収入
28億6,417万円
3.9%

繰越金
22億5,024万円
3.0%

使用料及び手数料など
24億1,851万円
3.2%

一般会計 歳入
743億1,510万円

一般会計 歳出
724億9,426万円

市税の内訳

普通税	市民税（個人）	60億6,530万円
	市民税（法人）	11億3,768万円
	固定資産税	78億5,295万円
	軽自動車税	5億5,824万円
	市たばこ税	10億9,676万円
目的税	都市計画税	10億2,234万円
	入湯税	176万円



また、特別会計は
歳入が315億円
歳出が304億円
となっています

上の表のとおり
令和4年度の一般会計は
歳入が743億円
歳出が724億円
となっています



まず、決算とは
市に1年間に入ってきた
お金（歳入）と
使ったお金（歳出）の
合計を表したものです

【特別会計決算】

区分	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
国民健康保険事業	163億1,062万円	162億8,727万円	2,335万円
後期高齢者医療	19億5,839万円	18億6,367万円	9,472万円
介護保険事業（保険事業勘定）	131億3,831万円	122億4,918万円	8億8,913万円
介護保険事業（サービス事業勘定）	5,271万円	667万円	4,604万円
駐車場事業	3,098万円	3,098	0円
墓園事業	7,174万円	1,182万円	5,992万円
計	315億6,275万円	304億4,959万円	11億1,316万円

※端数処理のため、合計が合わないことがあります。

【企業会計決算】

区分	収入済額	支出済額
水道事業	収益的 29億5,940万円	25億8,824万円
	資本的 3億3,375万円	15億9,585万円
工業用水道事業	収益的 4億4,179万円	3億2,917万円
	資本的 6億9,708万円	8億627万円
下水道事業	収益的 53億1,054万円	44億7,009万円
	資本的 25億7,740万円	44億6,703万円

企業会計とは、独立採算（その収入でその支出を賄う）事業
 ●収益的収入…水道料金、使用料など ●資本的収入…企業債、補助金など
 ●収益的支出…維持管理費など ●資本的支出…工事費、企業債償還金など



そうくると思っていました
では、これでどうでしょう



一般会計決算を家計簿みたいに
分かりやすくするチーム！

市の令和4年度一般会計決算額の内容を
月収30万円（年収360万円）の家計に
例えてみます。

収入

給料など (市税、地方交付税、財産収入、使用料、手数料など)	16.0万円
親からの援助 (国県支出金)	9.2万円
前月の残金 (繰越金)	0.9万円
貯金の取り崩し (繰入金)	2.0万円
その他 (寄付金)	0.5万円
ローンの借り入れ (市債)	1.4万円
合計	30万円



支出

食費 (人件費)※1	3.1万円
医療費・教育費など (扶助費)※2	8.0万円
ローンの返済 (公債費)※3	2.8万円
光熱費、通信費 (物件費)※4	3.3万円
家や家財、車の買替・修繕費 (維持補修費、普通建設事業費など)※5	3.0万円
貯金や投資 (積立金、投資・出資金、貸付金)	2.8万円
子どもへの仕送り (繰出金、補助費等)※6、※7	6.1万円
合計	29.1万円



- ※1 人件費…市職員の給与や手当などを支払うための経費
- ※2 扶助費…社会保障制度の一環として、生活困窮者や障害者、高齢者、児童などに対して行っているさまざまな支援に要する経費
- ※3 公債費…国や金融機関から借りたお金の返済にかかる経費
- ※4 物件費…電気料金や消耗品の購入費、委託料など
- ※5 維持補修費、普通建設事業費…道路や公園、学校など公共施設の建設や改修などにかかる経費
- ※6 繰出金…特別会計の歳入を補うための経費
- ※7 補助費等…各種団体に対する補助にかかる経費



令和4年度に行った主な事業（一般会計）

小中学生福祉医療費の現物給付化

医療機関を受診した際のお支払いが、1日800円、月上限1,600円で済むようになりました。

決算額：1億 4,412 万円



学校給食費支援事業

物価高騰に伴う小中学校などの給食費の値上げを抑制しました。

決算額：2,364 万円



いさはや地域振興商品券事業

プレミアム付き商品券の販売と、住民税非課税世帯への商品券の配布を行いました。

決算額：6億 6,145 万円



地域おこし支援事業

地域おこし協力隊を増員し、本市の魅力発信や移住定住の促進を図りました。

決算額：1,268 万円



道の駅整備事業

国道251号沿いで計画している道の駅を整備するため、基本設計などを行いました。

決算額：8,242 万円



南諫早産業団地整備事業

企業誘致により雇用を増やし、定住などを図るため、新たな産業団地を整備しました。

決算額：1億 3,436 万円



都市公園長寿命化対策事業

都市公園が長く使われるように、遊具などを更新しました。

決算額：9,922 万円

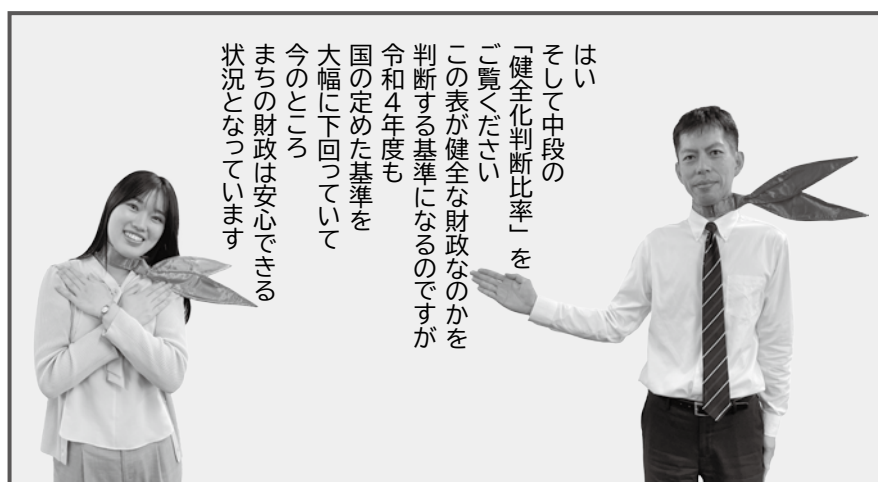


すみよか事業

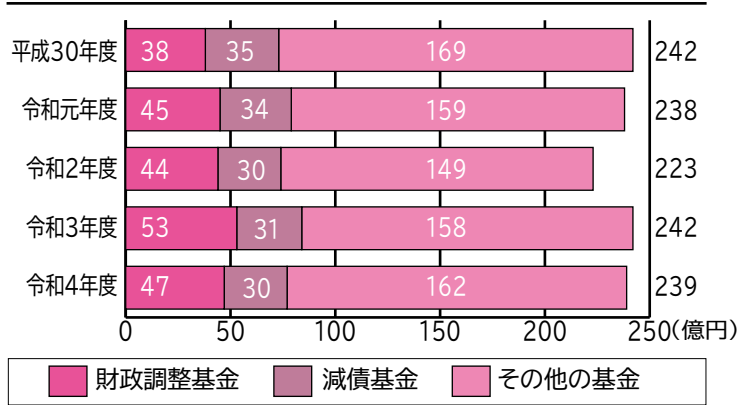
市民の日常生活を支える道路、水路、交通安全施設などの整備を行いました。

決算額：5億 1,989 万円



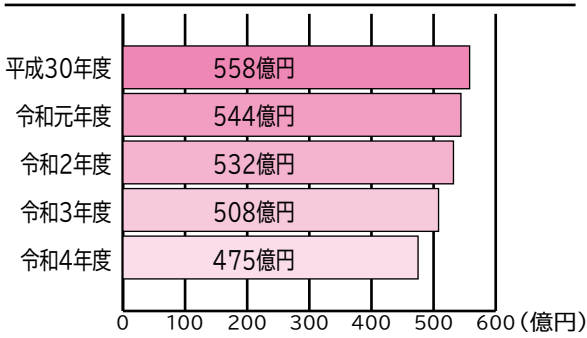


基金（貯金）残高の推移



※減債基金とは、将来の借金の返済に備え、積み立てる基金です。
※財政調整基金とは、年度によって生じる財源の不均衡を調整するための基金です。市における貯金といえます。

市債（借金）残高の推移



健全化判断比率

指 標	内 容	結 果	早期健全化基準※
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字比率	赤字額なし	11.62%
連結実質赤字比率	全ての会計の赤字比率	赤字額なし	16.62%
実質公債費比率	借金返済額などの大きさから財政の弾力性を判断する指標	7.0%	25.0%
将来負担比率	市が抱える負債の残高から将来財政への圧迫度を見る指標	負担比率なし	350.0%

※この基準を超えると、国の定めに従い財政の健全化に向けた取り組みが必要となります。

資金不足比率

公営企業会計（諫早市は水道事業会計、工業用水道事業会計、下水道事業会計が該当します）の資金不足額が、事業規模に対してどの程度の割合なのかを表す指標です。諫早市は資金不足はありません。

名 称	資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	資金不足なし	20.0%
工業用水道事業会計	資金不足なし	
下水道事業会計	資金不足なし	



令和5年度 上半期の予算執行状況

市は年2回、財政状況の公表を行っています。
令和5年度予算の上半期の執行状況をお知らせします。

一般会計・特別会計

会計別		予算現額	収入・支出の状況			
			収入済額		支出済額	
一般会計		706億 4,300 万円	299億 2,542 万円	42.4%	274億 9,781 万円	38.9%
特別会計	国民健康保険事業	163億 9,300 万円	68億 2,062 万円	41.6%	66億 9,787 万円	40.9%
	後期高齢者医療	20億 3,600 万円	7億 3,130 万円	35.9%	7億 2,587 万円	35.7%
	介護保険事業（保険事業勘定）	144億 2,900 万円	59億 2,920 万円	41.1%	53億 9,397 万円	37.4%
	介護保険事業（サービス事業勘定）	1,000 万円	4,933 万円	493.3%	298万円	29.8%
	駐車場事業	3,030 万円	1,547 万円	51.1%	964万円	31.8%
	墓園事業	2,280 万円	7,297 万円	320.0%	887万円	38.9%
	計	329億 2,110 万円	136億 1,899 万円	41.4%	128億 3,920 万円	39.0%

企業会計

科目別		収入			支出		
		予算現額	収入済額		予算現額	支出済額	
水道事業	収益的	29億 8,940 万円	14億 5,262 万円	48.6%	28億 8,432 万円	10億 7,417 万円	37.2%
	資本的	8億 333万円	5,545 万円	6.9%	32億 1,224 万円	7億 253 万円	21.9%
工業用水道事業	収益的	4億 7,499 万円	2億 5,812 万円	54.3%	4億 5,957 万円	1億 5,523 万円	33.8%
	資本的	9億 9,725 万円	7億 844万円	71.0%	24億 9,047 万円	9億 9,604 万円	40.0%
下水道事業	収益的	53億 2,066 万円	24億 9,438 万円	46.9%	47億 8,581 万円	20億 9,584 万円	43.8%
	資本的	59億 2,356 万円	4億 7,017 万円	7.9%	78億 9,887 万円	17億 5,138 万円	22.2%

財産・市債・市民負担の状況（一般会計） 令和5年9月30日現在（住民基本台帳 134,075 人）

【財産】

○土地 4,232 万 4,161 ㎡ ○建物 57万 9,383 ㎡
○有価証券 6,438 万円 ○出資金 3億 6,855 万円
○基金総額 220億 7,668 万円（市民1人当たり約16万円）
（内訳）積立基金 214億 8,751 万円、運用資金 5億 8,917 万円

【一時借入金】

なし

【市民負担の状況】

○市債現在高 444億 2,456 万円
（市民1人当たり約33万円）

令和5年度は
このような新規・拡充事業を
行っています！

第2子に係る
保育料の無償化

同時在園児の
第2子保育料を無償化

高校生世代
福祉医療費支給事業

子どもの医療費助成について
高校生世代まで拡充

いさはやシニア
おでかけ支援事業

高齢者の外出機会の拡大と
社会参加および
健康増進を促すため
交通費を助成

窓口 DX 推進事業

住民サービスの向上と
窓口業務の効率化のため
デジタル技術を活用し
書かない窓口および
コンビニ交付サービス
を導入

などなど

令和5年度の
主な事業説明書は
こちら



ZAISEI - JOUKYOU
TSUTAE - TAI